



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

— No.87 —

平成 29 年 8 月 (2017 年)

編集発行

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

電話 0279-23-1010
FAX 0279-23-1011

E-mail:shibukawamc@hosp.go.jp
http://www.hosp.go.jp/~shibukawamc/

渋川医療センター 広報誌



今年も渋川へそ祭りに参加しました!!

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

目次

白井宿八重ざくら祭りに参加して	1
看護の日のイベント 道の駅こもちを開催して	2
看護学生インターンシップを開催して	3
「看取り」ってなに? 「地域包括ケア」ってなに??	4
第 34 回渋川へそ祭りに参加しました!!	5
地域医療センター運営委員会が開催されました	6
民間医局レジナビフェア 2017 東京に参加して	7

シリーズ

●重症心身障害病棟だより	8
●患者さんにとって耳寄りな情報 「食中毒のはなし」	9
「熱中症のはなし」	10
●整形外科外来完全予約制について	11
●我が家のアイドル/私の趣味	12
●外来診療担当医表	13
●セカンドオピニオン担当表	15

白井宿八重ざくら祭りに参加して



管理課給与係長 **小山内智之**

平成29年4月23日（日）に行われた八重ざくら祭りに当院から約30名ほど参加させていただきました。

渋川医療センターがある白井地域の八重ざくら祭りに参加することは当院の毎年の楽しみであり、土蔵造りの家など歴史ある町並みや八重桜を見ながら山車を引っ張ることや地域住民の方々と触れ合うことで渋川市、白井地域の素晴らしさをあらためて感じることができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。

また、さくら祭り終了後には慰労会にもご招待いただき、食事やビール、地元の名前が入った日本酒などもいただき、大変ありがとうございました。

この八重ざくら祭りに参加することで渋川市、白井地域の地域住民の方々のために、医療を通して貢献できるように日々努力していきたいと思えます。





「看護の日」のイベント

道の駅こもちを開催して

5階西病棟 副看護師長 **小和田美由紀**
(がん看護専門看護師)

6階東病棟 看護師 **齋藤 慎之介**

平成29年5月12日に道の駅こもちで「看護の日」のイベントを開催しました。当日は晴天に恵まれ、準備時から道の駅こもちに立ち寄った方々が関心を示し、「何時からできるの」と声を掛けていただきました。平日の開催でしたが、買い物やお散歩に道の駅を利用されている地元の方々が、新聞や広報を見てお越しいただきました。

血圧測定、活力年齢測定、脳年齢測定、血管年齢測定、健康・栄養相談を行い、パンフレットを配布、107名の方の参加がありました。イベントでは、自宅で測定が可能な血圧測定のみではなく、普段は馴染みの少ないものやタッチ式の機器を使用し脳年齢測定などを行い、ゲーム感覚で測定することができると好評でした。



来場者の皆さんは健康への意識が高く、参加した方に話を伺うと食事に注意し毎日血圧測定をしていたり、散歩など普段から運動したりと健康を意識して生活を送っている方が多くいました。その中で、更に運動や食事について工夫した方が良い点や、病気の経過や症状があるが受診した方が良いか、家庭や仕事のストレスなど様々な相談がありました。

また、イベントでは、普段は馴染みの少ない脳年齢測定などを行い、健康に対してあまり意識していない方々も自分の健康について見つめ直すよききっかけとなったという意見もありました。また、「自分の体のことが知りたかった」「認知症やがんが心配」などの意見もあり、健康相談会を行い健康の維持・増進に一役かうことができたと感じています。

そして病院ではない場所で、日頃気になる身体について、気軽に相談できて良かったとのお声をいただきました。病院と地域が共に健康について考え、病気を予防することや病気の早期発見に繋がるよう、地域でのイベントを継続したいと考えています。今後もお参加頂きますようよろしくお願い致します。



看護学生

インターンシップを開催して

「看護学生インターンシップ」

緩和ケア病棟 看護師 今泉 美穂

5月27日(土)、13名の看護学生を対象にインターンシップを行いました。午前は現場で働く看護師の日々の業務内容や取り組み、リフレッシュの仕方等について、看護師として働くイメージが持てるよう、学生時代を踏まえ説明しました。説明後に学生と交流の場があり、患者さんとの関わり方や看護技術に対する不安、夜間勤務は大変なのか等、様々な視点から質問がありました。一つひとつ説明していくと、「安心しました。聞けて良かったです」と返答があり、学生の不安や疑問が少しでも緩和されたのではと思いました。

午後はそれぞれ希望病棟の見学があり、私が所属している緩和ケア病棟には2名の学生が来ました。一般病棟とは違う雰囲気の中に緊張している様子がありましたが、患者さんと庭園を散歩している中で自然と会話ができ、積極的な関わりが出来ている事に気が付きました。学生からも患者と過ごす時間を経験した事で、より看護師の役割がイメージしやすくなったと、好印象の言葉が聞かれました。今回のインターンシップで経験したことが、今後看護を実践していく上での、やりがいや楽しさに繋がって欲しいと思いました。



「インターンシップを終えて」

6階西病棟 看護師 金田 早織

今回、看護学生インターンシップに参加し入職してから2年目の看護師として学生に向けて自身の1年間のあゆみを話しました。「いつから採血するのか」「どのような教育研修があるのか」「職場の環境はどのようなのか」といった、私自身が入職するまで不安であった内容を中心に話しました。学生からは就職試験や国家試験を控えていることもあり、「就職試験の内容」や「どのように学習していたか」といった学習方法の相談がありました。

午後は希望する病棟に分かれて、実際に環境整備や清潔援助、患者さんとの会話などを体験してもらいました。初めはとても緊張している様子でしたが、患者さんと触れ合う中で表情が和らいでいく様子を身近に感じられ、職場体験後は、「楽しかった」「ここに就職したい」といった声を聞くことができ、嬉しく思いました。今回のインターンシップが渋川医療センターに就職するきっかけになってくれたら嬉しいです。

「地域医療支援センター運営委員会」が開催されました

管理課長 竹下 秀之

平成29年7月24日に渋川医療センター運営委員会が開催されました。この委員会は年2回、渋川市の主催で開かれるもので、今回が2回目の開催となりました。主な内容は渋川医療センターの運営状況報告と、提案議題があれば検討していくこととなります。

当委員会会長である川島渋川地区医師会会長のあいさつから始まり、続いて運営状況について、三浦企画課長より事業計画と平成29年6月までの実績報告がありました。事業計画では医師数や、リハビリテーション、臨床工学技士といったコメディカル部門の職員数が増

加していることや、平成28年度収支見込について、経常収支率や人件費率といった内容の説明がありました。

また、平成29年度の実績報告では、平成28年度に比較して入外患者数、救急患者数、紹介患者数いずれも増加しており、順調に推移していると説明がありました。

委員からは「逆紹介率が上がらないのはなぜか」「外来患者数が増えると医師が疲弊するのではないか」といった質問がありましたが、斎藤院長より「逆紹介率はがん患者が多いことなどが影響している。外来患者については群馬大学からの診療援助を大幅に増やすことで、当院医師の負担を減らしている。診療援助を増やすことでゆくゆくは常勤採用につなげたい」といった回答がありました。佐久間渋川保健福祉事務所長からは「結核医療について非常にお世話になっており感謝している」といった言葉や、青山渋川広域消防本部長からは「一昨年からの救急患者数は非常に伸びている。是非この体制を維持いただきたい」との言葉をいただき、渋川医療センターが担うべき北毛の拠点病院としての役割が果たしていることを実感しました。



委員会の様子



事務局による開式の辞



質疑に回答する斎藤院長

「看取り」ってなに？ 「地域包括ケア」ってなに??

医療福祉相談室長 尾方 仁

平成29年5月17日（水）夕方より、渋川地区医師会との共同開催で「地域医療連携セミナー」を開催しました。

参加者は行政関係者や渋川地域の多くの職種・職域の方々、院内職員含め約190名の方々にご参加いただき、蒔田副院長の進行のもと「看取り」と「地域包括ケア」について学びを深めました。会場風景と一緒にその内容についてご報告いたします。



第一部：「緩和ケア」・テーマ：「看取り」

当院緩和ケア科医師の小屋紘子先生より、がん患者データやエビデンスに基づいた緩和医療での看取りについて、日頃の業務を通じた関わりなどについて、穏やかながらもしっかりとした口調で、とてもわかりやすくご講演頂きました。



第二部：「地域包括ケア」・テーマ「地域包括ケアシステムにおける病院の役割について」

渋川地区医師会長川島理先生より、現在地域医療連携の大前提として位置づけられている“地域包括ケアシステム”について、その制度説明と渋川医療センターへの期待、果たすべき役割について提言が為されました。



第二部：「地域包括ケア」・テーマ「渋川圏域における医療介護連携調整実証事業と当院患者相談支援センターの活動」

当院患者相談支援センター長棚橋美文先生より、現在進行中の医療介護連携事業説明や、発足して1年経過した患者相談支援センターをドラえもん劇場にたとえ、本当は優しい？ジャイアン棚橋号令のもと、皆で団結している様子が紹介されました。



第二部：「地域包括ケア」・テーマ「渋川医療センターにおけるソーシャルワーカーの役割～医療福祉連携の視点から～」

当院医療福祉相談室長（ソーシャルワーカー）尾方仁より、わかりづらいソーシャルワーカーの業務説明や福祉的視点を持った渋川地域での連携活動について報告させていただきました。

病院では一人の患者さんですが、地域では一人の生活者であることをしっかり認識し、今後も患者さん目線で地域との繋がりを大切にしていける病院でありたいと考えています。

このセミナー開催にご尽力頂いた渋川地区医師会並びに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

「第34回渋川へそ祭り」 に参加しました!!

庶務班長 山岸 秀樹

渋川市の夏の風物詩として親しまれている、渋川へそ祭りに7月22日（土）参加してきました。渋川へそ祭りは今年で34回目の開催となりますが、渋川医療センターとしては昨年に引き続きの参加で、若輩2回目の参加となります。

「へそ出せ！よいよい！へそ出せ！よいよい！」の掛け声と、テンポ良いリズムの「へそ音頭」に合わせて渋川市内を練り歩く「はら踊り」と「ゆかた踊り」のパレードは、圧巻であり、地域交流の場としても大変に有意義でありました。



渋川医療センター基本理念の一つでもある「地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します」を念頭に日々取り組んでいるところであります。今後も地域に根ざした病院として日々努力していきたいと思っております。

また文末となりますが、日頃よりお世話になっている渋川市役所、渋川市民の方々の協力の元、盛大に無事参加することができました事に感謝の意を申し上げます。今後も渋川へそ祭りには、是非、参加していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



民間医局レジナビフェア2017東京 に参加して

管理課庶務係 保坂 薫

平成29年7月16日（日）に東京ビックサイトにて行われた、民間医局レジナビフェア2017東京に参加させていただきました。

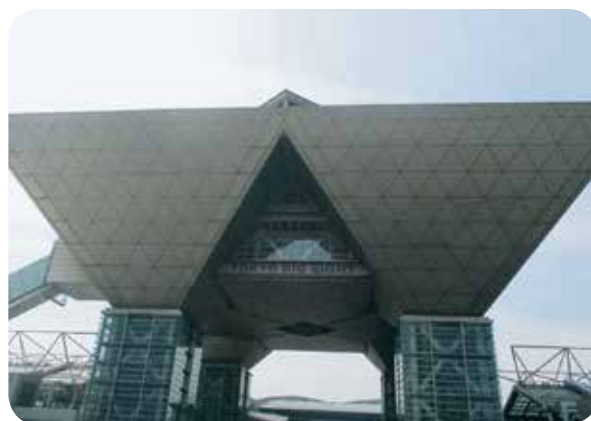
こちらのイベントは、医学生に向けた臨床研修病院の説明会です。会場には全国から色々な病院が集まり、各病院ごとにブースが設けられ良いところや特徴などをアピールします。

参加病院は567施設、参加医学生は2,768人と大変大きなイベントです。

当院は今年度より臨床研修基幹型病院になり研修医も現在2名在籍しておりますがまだ協力型病院から基幹型病院へ変更になった認知が低いので、まずはこういったイベントへ参加させていただき、医学生への認知度を上げております。

また院外へのアピールだけでなく、研修に専念できる環境作りを指導医の先生方以外にも院長をはじめ副院長、事務部など院内全体で力をいれております。

こうした活動を続け群馬県北毛地域の医療活性化へ繋げていき、患者さん皆さんによりよい医療を提供するため日々努力していきます。



東京ビックサイト



群馬県ブース



横江特任院長補佐（左）、蒔田副院長（右）、
ぐんまちゃん（研修医・清水先生）



参加した先生、研修医、事務部 集合写真



重症心身障害病棟だより

世界に1つだけのTシャツ

療育指導室 保育士 長谷川亜由美

平成29年4月12日、重症心身障害病棟で今年度初めての行事「新緑会、4・5月誕生会」を、3東・3西それぞれの病棟で、利用者、ご家族、ボランティア、職員が集まり開催しました。誕生者へのプレゼントは、これまで数年に渡り保育士手製の誕生カードを用意してきましたが、今年度は利用者と職員と一緒に作るオリジナルTシャツを贈ることにしました。真っ白なTシャツを前に、誕生者の希望を聞き、また、誕生者の好きなものや名前からヒントを得て描くものを決め、布用のサインペンやクレヨンを使用し、保育士と共に世界に1枚だけのTシャツを作りました。4・5月生まれの利用者様は、両病棟で計19名。素敵なTシャツは、それぞれの病棟で参加者全員の

前で1枚ずつ披露し、「こういうのも記念になるね」、「世界に1つだけのものいいね!」など、参加されたご家族よりたくさんの感想をいただき好評でした。



個別支援計画の個別面談を実施して

療育指導室長 笠井 一博

5月15日(月)より13日間かけて3階療育訓練室で3西病棟と3東病棟の利用者の保護者及び成年後見人へ個別支援計画書の説明と交付を個別面談で行いました。会場には医師・看護師・薬剤師・リハビリ職員・療育指導室職員のそれぞれのブースを作り、そちらを保護者及び成年後見人が順番に回っていただきました。

今年度の説明では、保護者及び成年後見人へ病棟担当の専門的な立場より昨年度に実施した内容や今年度の目標などを伝えました。また、日頃より保護者などが不安に思っていることや希望したいこともその場でやりとりできるとても良い機会となりました。今回の個別支援計画で希望があった内容は職員で確認し、利用者の生活の質(QOL)が向上できるようにしたいと思います。

今後も関係部署で連携を図りながら保護者などとやりとりを深め、さらに利用者の入院生活が豊かになるよう考えていきます。



「熱中症のはなし」

熱中症に注意

4階東病棟 看護師 高橋 浩一

蒸し暑さと突き刺すような日差し、この季節になりますと天気予報に加え熱中症情報も耳にします。今回は暑い季節に気を付けたい「熱中症」についてお伝えします。

「熱中症」は、誰にでも起こり得ることから甘く見ることができません。私は看護師として、10歳代は屋外スポーツ中に、20歳代は、屋内建築現場作業中、80歳代はエアコンがあっても効きすぎるのが嫌いで使わない。夜間トイレに起きないように水分摂取を控えるなどの状況下で、熱中症と診断された症例に関わりをもちました。症例では熱中症発生の要因に該当されています。

①気温が高い、湿度が高い、風が弱い。②運動による体内での熱産生。③加齢による放熱能の低下、生理機能や体温調節機能の低下。④体調不良(下痢などの脱水・発熱)⑤通気性や吸収性が悪い服装。⑥過去にかかった病気(糖尿病、高血圧症、脳血管症、精神疾患)。上記の要因について対応ができれば熱中症は防ぐことができます。暑さは、室温は28度を超えないように、エアコンや扇風機を使いましょう。外出するときは涼しい服装で、日よけ対策をしましょう。無理をせず適度に休憩しましょう。たくさん汗をかいたら、のどが渇いていなくてもこまめに水分と塩分を補給しましょう。水分と塩分を素早く補給できる経口補水液をうまく使いましょう。日頃から栄養のバランスの良い食事と体力作りをしましょう。かかりつけ医があり定期的に受診している方は熱中症対策について相談しましょう。

熱中症は気付かぬうちに症状がでてしまうことから、本人だけが気を付けるだけではなく、周囲の人が熱中症に陥る前に水分摂取や休息の声をかけることも必要です。これらの予防法で暑い季節を乗り切りましょう。

熱中症の症状がでたときは下記表の対処方法に従って下さい。

重症度	症 状	対 処	医療機関への受診
I 度	めまい、立ちくらみ、こむら返り、大量の汗	涼しい場所への移動、安静、水分・塩分摂取	症状に応じて無理をせず受診しましょう
II 度	頭痛、吐き気、体がだるい、体に力が入らない	涼しい場所へ移動、体を冷やす、安静、水分・塩分摂取、必ず誰かが付きそう	口から飲めない場合や症状の改善がみられない場合は受診が必要
III 度	意識がない、けいれん、まっすぐに歩けない、高い体温	涼しい場所へ移動、安静、体が熱ければ保冷材などで冷やす	すぐに救急要請

整形外科外来完全予約制について



整形外科外来につきましては、原則「完全予約制」とさせていただきます。

これまで、予約なしに直接ご来院された場合、出来る限り当日診察をさせていただいておりましたが、外来患者数の増加に伴い、当日診察が出来ない患者さんが増え、ご迷惑をおかけしておりましたことお詫び申し上げます。

原則「完全予約制」では、予約なしの当日診察が出来なくなるによりご不便をおかけすることもございますが、予約をしていただければ、以前のように直接来院しても当日診察が出来ないといった場合がなくなりますので、ご理解いただければ幸いに存じます。

なお、予約制ではございますが外来患者数は増加しており、予定診察時間よりもお待たせすることもありご迷惑をおかけしておりますが、精一杯、患者さんと向き合い診察をさせていただいておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

予約の受付方法について

- 紹介状を発行した医療機関より当院の地域医療連携室※へ連絡し、予約を取っていただく。

※連絡先（地域医療連携室）：0279-23-0626

- 平日の午後1時から当院の予約専用番号※へ連絡し、予約を取っていただく。

※連絡先（予約専用番号）：0279-26-3010

受付時間（平日のみ）：13：00～17：00

なお、『事前の予約なし』に直接ご来院された際は、総合受付にて予約を取ってお帰りいただくこととなりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

※午前中の患者さんの混み具合により、その場で予約受付ができない場合がございます。その際には、改めて当院よりご連絡させていただきます。

救急で受診を希望される場合には、可能な限り対応いたしますのでお申し出ください。

INFORMATION

我が家の アイドル

6月で2歳になりました。
成長平均グラフを大きく上回り、
すくすくと成長しています。
イヤイヤ期で大変ですが、
娘の笑顔を見ていると頑張れます。
これからもたくさん笑って
大きくなってね

【看護師 Aさん】



※このコーナーは職員の家庭のアイドルを紹介しています。

私の趣味・ペット・自慢



私の現在の趣味は①トライアスロン②マラソン③トレイルランと登山、です。しかしながら西群馬病院から渋川医療センターに変わり、この年齢になって当直が2倍になったため十分な練習ができないのがストレスです。どれかやめて時間を節約する方法もありますが今のところどれもそれぞれ面白くやめられません。それに本などには単一の運動はよくないことも書かれているため様々な運動がいいようです。年間12回くらい大会に出ています。群馬マラソンは20年間くらい連続で出場しています。フルマラソン完走回数現在93回になり再来年あたり100回になるため現在それが次の目標です。

【乳腺・内分泌外科、がん診療部長 横田 徹】

※このコーナーは職員の趣味などの紹介コーナーです。



渋川医療センター外来診療担当医表

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
総合診療科	午前	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋
	午後	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋(予約)				アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋(予約)
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	イイジマ ヒロノブ 飯島 浩宣	トミザワ ヨシオ 富澤 由雄(新患)	ジングウ アスカ 神宮 飛鳥	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	オオサワ ショウ 大澤 翔	ツチャ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	マスタ トモミ 増田 友美(群大)	トミザワ ヨシオ 富澤 由雄(新患)
内分泌・代謝内科 内 科	午前	カサイ ユウコ 笠井 裕子(群大) (内分泌・代謝内科)		オオサキ アヤ 大崎 綾(群大) (内分泌・代謝内科)	カワシマ チエコ 川島 智恵子 (内 科)	ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大) (内分泌・代謝内科)
循環器内科	午前	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第1.3.5週)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	クマガイ ヒサヲ ★熊倉 久夫(北関) (第1.3.5週 14:00~)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後		イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2.4週)		ナカシマ クニキ ★中島 邦喜(北関) (第2.4週 14:00~)	
小児科 (重心のみ予約制)	午前		イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	
	午後			シミズ ノブノウ 清水 信三(重心)		
血液内科	午前	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イソダ アツシ 磯田 淳(予約)	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸(群大) (第2週・予約)			
	午前	イソダ アツシ 磯田 淳	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里	イソダ アツシ 磯田 淳	
	午前	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大) (第1.3.5週) イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃(群大) (第2.4週)	サワムラ モリオ 澤村 守夫	ミハラ マサヒロ 三原 正大	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里(予約)	
消化器内科	午前	ナガジマ ヨシミ 中島 良実(群大)	ナガシマ タモン 長島 多間	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	アライ ヨウスケ 新井 洋佑	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前		カナヤマ ユウキ 金山 雄樹(群大)	ウエハラ ダイスケ 植原 大介(群大)	カキザキ サトル 柿崎 暁(群大) (第2.4週)	
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦			マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	イマエダ マスミ 今枝 真澄	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司
	午後	イマエダ マスミ 今枝 真澄	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆

外来受付時間 8時30分～11時00分 注) 担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。(平成29年5月25日より)

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
外科(消化器)	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	コバヤシ ミツノブ 小林 光伸	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後				スケガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1.3.5週 13:30~)	
	午前		タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
外科(呼吸器)	午前	ナガシマ トシテル 永島 宗晃		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
脳神経外科	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ミヤギシマ タカアキ ★宮城島 孝昭(群大) 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)		ヤナガワ タカシ 柳川 天志(群大)	
	午後		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一 (群大)	オオサワ タカシ 大澤 貴志(群大) (第1.3.5週) オモダカ タクヤ 面高 拓矢(群大) (第2.4週)	ヤナガワ タカシ 柳川 天志 (群大)	
	午後	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	オカベ カズヒコ 岡部 和彦 (第1.3.5週)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄
	午後	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)	カトウ ハルオ 加藤 春雄 (第2.4週)	カトウ ハルオ 加藤 春雄(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)
	午前 10:00まで	カトウ ハルオ 加藤 春雄	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美
耳鼻咽喉科	午後	サクラ コウイチ ★坂倉 浩一(群大) (第1.3~5週 14:30~) マツヤマ トシユキ ★松山 敏之(群大) (第2週 14:30~)				
皮膚科	午前	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	アオヤマ クミ 青山 久美	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義
	午前	アオヤマ クミ 青山 久美	イシカワ マイ 石川 真衣(群大) (第2.4週)	アオヤマ クミ 青山 久美		アオヤマ クミ 青山 久美
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後			ヨコタ トオル 横田 徹(予約)		
乳腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後		ヨコタ トオル 横田 徹(予約)	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹(予約)
眼科	午前	タカヤマ マユコ 高山 真祐子	タカヤマ マユコ 高山 真祐子	タカヤマ マユコ 高山 真祐子	タカヤマ マユコ 高山 真祐子	タカヤマ マユコ 高山 真祐子
	午後	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(予約)	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(予約)	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(予約)		タカヤマ マユコ 高山 真祐子(予約)
	午前				スズキ コウタ 鈴木 康太(群大)	

セカンドオピニオン担当表 (平成29年8月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午前10時～	—	—	—	富澤 由雄	—
	午後3時30分～	斎藤 龍生	—	斎藤 龍生	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	磯田 淳	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午 後	蒔田富士雄	—	小林 光伸	—	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午 後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午 後	山中 正義	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午 後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,400円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー(尾方・山田・山浦・落合)
電話:0279-24-9229(直通)
(受付時間は平日8:30~17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:shibukawamc@hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編 集 後 記

渋川では「へそ出せよいよい」のかけ声とともに梅雨が明け、猛暑の到来です。
今回のウィズでは、食中毒や熱中症の予防について記載してもらいました。健康に気をつけて暑い夏を乗り切りましょう。(T・K)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011
http://www.hosp.go.jp/~shibukawamc